



2019年度
「讚美礼拝の前に」
12.11 発行



いよいよ来週讚美礼拝を迎えます。朝の体操が終わり、ハレルヤに向かう年長さんはどこか誇らしげで自信に満ちた表情です。讚美歌を歌う聖歌隊の年中さんも日毎に声を高らかに、天使のような歌声を響かせています。そんなお兄さん、お姉さんの姿を年少さんも傍らでどんな事が始まるのか不思議な気持ちで見ているかもしれませんね。

にじぐみでもクリスマス礼拝ではイエス様誕生のお話をパネルシアターで見ながら讚美歌を歌いお祝いをします。そんなににじぐみさんのお気に入りの歌は宿探しの場面の歌です。「トントントン、やどやさん♪」と歌いながら、おままごとのおうちに入ろうとしたり、あそびの場面でも出てくるほどです。宿屋さんと言えば…私事で恐縮ですが、その昔、私の娘も宿屋さんの役を務めました。とても恥ずかしがり屋の娘で、年少さんで讚美礼拝に参加した時から、トーンチャイムに憧れ（セリフがないから！）年長の役決めの前まで「トーンチャイムをやりたい」と話していました。ところが、頂いてきた役はなんと宿屋さん！しかも一人で歌うなんて!!私の方がびっくりしました。

第一希望が叶わなかったんだと思ったのですが、先生に伺ったら「第一希望でしたよ。」とのお答えで更に驚きました。当の本人はあくまでも「トーンチャイムが第一希望だった、先生が聞き間違えた。」と言っていました…真相は定かではありません。喜んで練習している姿を見ると、きっと望んで得た役だったと思います。親の目から離れたところで、自分なりに考えてやってみようとしたのかなと成長を感じた出来事でした。

今年もまたここに至るまで子どもたち一人一人に様々な思いがあったのではないのでしょうか。どんなことも欠かすことのできない成長の糧になっていると思います。

神様に護られ、そこに集う全てのひとの心に残る讚美礼拝になりますように、心からお祈りしています。

(Akier★)

